直後の14日付で県内全39署に、駅や商業施設の警備強化を文書で指示。人が集まが集まるイベントでパトロールの回数を増やし、施設管理者へのテロ対策指導を施設を管理する企業と協力して、迅速な情報共有の体制を構築するのが狙い。

出来上がった絢爛豪華な押絵羽子板（春日部市で）＝福島聡撮影

正月に向け、邪気をはねる縁起物として「押絵羽子板」の生産が連日、産地の春日部市で進められている。

押絵羽子板は、小さいもので18㌢、大きなものは90㌢。高級和服の布地などを使い、立体的で絢爛豪華な女性や歌舞伎役者の姿を、キリの板に張り付けている。

同市粕壁東の製造卸「匠一好　さか田」（坂田和則社長）では、約20人の従業員が、全国の人形店やデパートからの追加注文に追われている。

## 押絵羽子板　邪気はねろ　春日部

12月21～23日には、東武線春日部駅東口前で春日部羽子板組合が製造方法の紹介と販売を行う。坂田社長は「お客さんと接することができるので楽しい」と心待ちにしている。

書留の誤交付と、一時紛失があったと発表した。

発表によると、越谷郵便は社員の指導を徹底し、再発防止に努めるとしている。

の朝会で事実関係を初めて報告し、謝罪した。

杉原千畝パネル展

トの翻訳・解読を同大外国語学部の教授陣に依頼して

最優先した」

上田知事は見で「職員の執行者であるる。罪した。

**82歳が**

春日部署は無職女性(82円をだまし取た。詐欺事件る。

発表では、女性宅に商社を名乗る男ら株購入の権利000万円購あった。女性て現金100員を名乗る男にも、別の名円を郵送。16ことに気付い

**河川敷**

17日午前1